

## 本宮地区が「かわまちづくり」支援制度に登録 【阿武隈川水系で 2 箇所目】

～まちづくりと一体となった「にぎわいのある水辺空間」の創出を支援～

国土交通省では、平成 22 年度「かわまちづくり」支援制度（平成 21 年度創設）について、全国で 11 件の登録を行いました。

東北地方整備局管内では、3 件が登録され、福島県内では「本宮地区」が登録されました。昨年度の「ふくしま荒川地区」に続き、阿武隈川水系では 2 箇所目となります。

※「かわまちづくり」支援制度は、地域の創意工夫を尊重し、地域との連携を強化しつつ水辺空間とまち空間の融合を図り、良好な空間形成を目指すことを目的として、市町村等が作成した計画をハード・ソフト両面から支援するものです。

今後は、登録された計画に基づき、本宮市や地域住民・市民団体等と河川管理者が連携しながら、にぎわいのある水辺空間を創出し、観光振興、地域活性化を図っていきます。

※東北地方整備局管内での認定箇所

- 山形県： 清川地区（庄内町）、河北町（河北町）
- 福島県： 本宮地区（本宮市）

なお、本件については、国土交通本省及び東北地方整備局においても記者発表を行っていません。

〈記者発表先〉福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局  
福島河川国道事務所 TEL 024-546-4331（代表）  
副所長（河川） 佐々木 秀明（内線 204）  
工務第一課長 二瓶 昭弘（内線 311）

# もとみや 「本宮地区かわまちづくり」

もとみやし  
市町村名： 福島県本宮市  
あぶくまがわ  
対象河川： 阿武隈川水系阿武隈川

## 1. 概要

本宮地区では、昭和61年・平成10年・平成14年と浸水被害を受けており、特に本宮市の中心市街地をかかえる左岸堤防の完成化は急務となっている。左岸築堤箇所は、市の中心市街地と隣接していることから「まちづくりとかわづくりが一体となった整備」が必要であり、本宮市では河川改修事業と連携し、まちづくり交付金を活用した「街なか再生事業」を実施している。本宮地区かわまちづくりでは、「まちと川を結ぶ」ネットワークを形成し、まちの魅力向上や、川とまちの交流の場としての河川空間の創出を行うための河川管理施設を整備することで、地域の活性化を支援するものである。

## 2. 整備内容

**整備イメージ**

**本宮市 河川を利用したイベント**

**位置図**

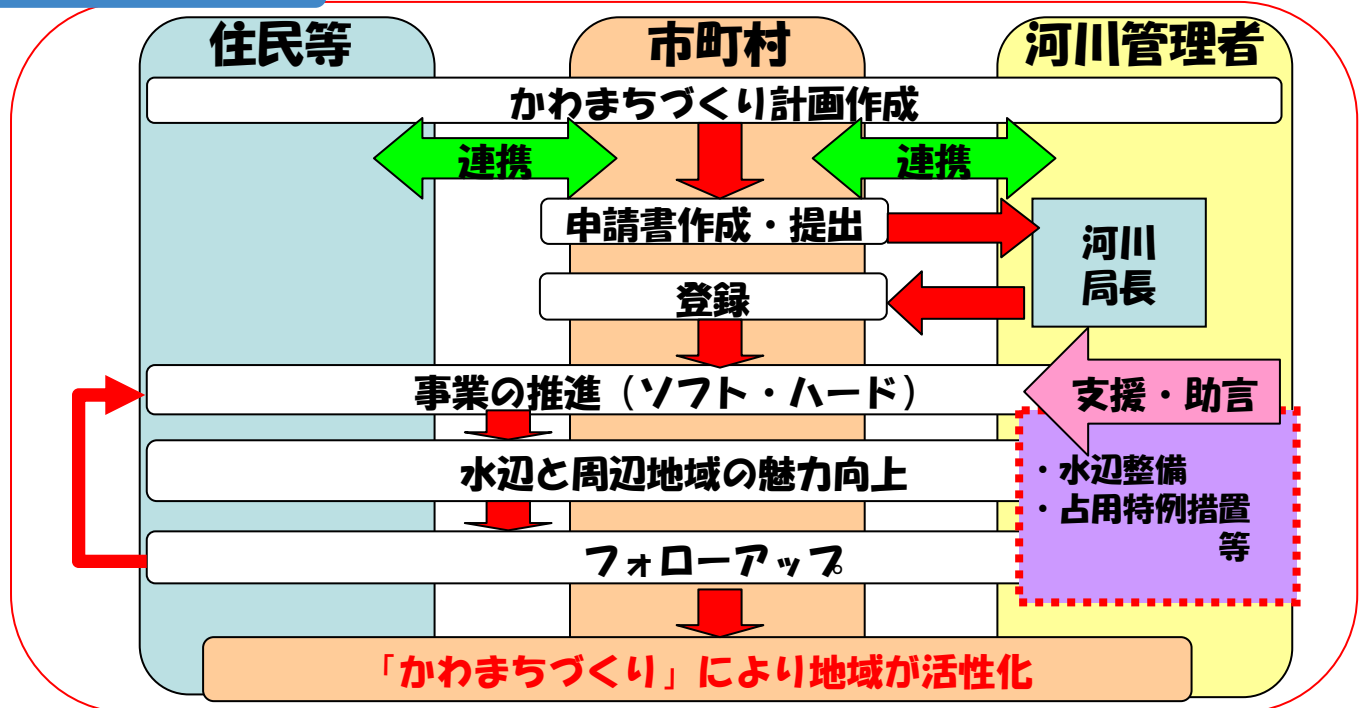
# にぎわいのある河畔空間の創出

## ～「かわまちづくり」支援制度の概要～

参考

河川が有している景観・歴史・文化等の活性化に繋がる「資源」や地域の「知恵」を活かし、市町村や住民等との連携によって立案された水辺の整備・利活用計画に基づき、**まちと水辺が融合した良好な空間形成を推進**します。

### 支援制度の流れ



※かわまちづくり計画は、水辺とまちづくりに関する基本的な方針、周辺市街地等と一体的な利活用・整備等の計画を定めたものです。認定に際しては、以下の点に着目して行います。

- ① 地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ② 利活用方策が地域において明確となっているもの
- ③ 施設の維持管理に地域の協力が得られるもの

○**ソフト面**は、民間事業者が行う河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用(河川敷地占用許可準則の特例措置)を拡充する等により、地域づくりを積極的に支援します。

○**ハード面**は、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援します。

河川を核とした地域活性化(最上川)

【河川管理者の取組み】



【地域の取組み】

